



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより第18号
令和4年9月2日

学校教育目標

『 自立した生徒の育成 -自律・調和・創造- 』のもと

- ・自分を大切にする
 - ・他者を大切にする
 - ・粘り強くやり切る
 - ・人を大切にする
 - ・安全で安心できる
 - ・地域や保護者とともにある
- 生徒 学校 づくりを目指します

夏休が終わりました。新型コロナ第7波、部活動（中体連大会・吹奏楽コンクール等）記録的大雨、広島・長崎平和祈念式典等平和への想い。多様で様々な思い出とともに・・・

さあ、2学期『 向上期（こうじょうき） 』のはじまりです！

～ 42日間の夏休みが終わりました！2学期始業式・校長あいさつより ～

全校生徒のみなさん、おはようございます。1学期の終業式に続き、本日の2学期始業式も感染症対策として「オンライン」にて実施します。始業式では2つの話をします。

1つめは、1学期の終業式では、『大変』という言葉が提示した内容です。この文字は「大きく変わる」とも読めます。今までの自分から「大きく変わろう」「かわりたい」「少しでも成長したい」と思う気持ちがあれば、この夏休みには「大変な思い」をしてほしい。そして、「大変な思いとは努力をすること」ですと伝えました。努力した先には、「少しでもできるようになった自分」が待っています。「わかるようになった自分」が待っていますとも・・・みなさんの夏休みはどうでしたでしょうか？努力した結果はすぐに表れるものばかりではありません。よい例は、部活動だと思います。この夏休みの中体連大会や吹奏楽コンクールなど部活動での頑張りには、みなさんの日々の努力がしっかりと表れていたと思います。勝ち負けの結果だけが素晴らしいものとは思いません。3年間の練習をコツコツと積み重ねてきた努力や頑張りがあるからこそ、充実感や達成感、そして、できるようになった喜びや感動があるのだと思います。そんなみなさんのひたむきで一生懸命な頑張りを目の前で見てことができ本当に幸せでした。ぜひ、この努力を2学期からの部活動だけでなく、学習にも、そして進路実現にむけても「つなげてほしい」と思います。

2つめは、『平和への想いは、川越中学校が大切にしている人権学習につながる』という内容です。この8月6日に被爆77年となる広島「原爆の日」の平和記念式典で、広島市の小学生が読み上げた「平和への誓い」から。

平和への誓い

あなたにとって、大切な人は誰ですか。家族、友だち、先生。大切な人がたくさんいます。大切な人と一緒に過ごす。笑い合う、そんな当たり前の日常はとても幸せです。

昭和20年（1945年）8月6日午前8時15分。道に転がる死体。死体で埋め尽くされた川。「水をくれ。」「水をください」という声。大切な人を一瞬で亡くし、当たり前の日常や未来が突然奪われました。あれから77年経ちました。今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。戦争は、昔のことではないのです。

自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは、強さとは言えません。「本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとすることです。」本当の強さをもてば、戦争は起こらないはずです。

過去に起こったことを変えることはできません。しかし、未来を創ることができます。悲しみを受け止め、立ち上がった被爆者は、私たちのために、平和な広島を創ってくれました。今度は私たちの番です。被爆者の声を聴き、思いを想像すること、その思いをたくさんの人に伝えること。そして、自分も周りの人を大切にし、互いに助け合うこと。世界中の人の目に、平和な景色が映し出される未来を創るため、私たちは、行動していくことを誓います。

令和4年8月6日 こども代表 広島市立織町小学校 6年 バルバラ・アレックス
広島市立中島小学校 6年 山崎 鈴

この「平和の誓い」から、平和を願う人々の心からの祈りを感じました。「平和への誓い」の内容から、川越中学校が大切にしている「人権学習」についても同じことが言えると思います。それは「仲間づくり」です。学校は、学級は安全で安心できる一人ひとりの大切な居場所です。大切な仲間と、先生と一緒に過ごし、笑い合ったり、一緒に悔しがったり・・・そんな当たり前の日常が幸せだと思います。しかし、「心ないいじめ」によってその当たり前の幸せは崩れてしまいます。「いじめ」は人間の心の弱さから発生するものだと思います。クラスの中でも、学年の中でも、部活動の中でも「平和への誓い」につながる大切なことがあります。



「本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとする事です。」本当の強さをもてば、『いじめは起こらない』は可能です。クラスは、学校は一人ひとりにとって安全で安心できる大切な居場所なのです。2学期は「向上期（こうじょうき）」ともいわれる大切な学期です。体育祭、文化祭を中心に多くの行事が行われます。「仲間づくり」を柱とした人権学習を大切にできた1学期。その成果を発揮できる、そして、その土台をもとに仲間とともに向上できる学期が2学期です。

新型コロナウイルス感染症に係る2学期以降の対応について＜学校での感染症対策＞

（別紙、川越町教育委員会学校教育課 8/29 すぐる別添文書参照）

本校でも夏休み中には、累計約90名の生徒の新型コロナウイルス感染症に係る報告があったように、「誰にでも起こりうる」現状がある中、2学期以降の授業再開に伴う対応を再確認いただきたいと思います。

【8/29(月)川越町教育委員会学校教育課文書「新型コロナ感染症に係る2学期以降の対応について」を指針として】

① 学校における通常授業について

- ・感染症対策を徹底し通常の授業を継続します。グループ活動、話し合い・教え合い活動は継続しますが、「生徒が長時間、近距離でのグループ活動」の実施については、極力避けながら授業を実施していきます。
- ・身体距離が十分にとることができないときはマスク着用を基本としますが、熱中症リスクの高い場合は、体育授業（体育祭練習含む）・運動部活動、登下校については、今までどおりマスクを外すよう指導します。その際、身体的距離の確保等を徹底します。
- ・2学期の始業式、就職ガイダンス（2・3年）等、全体にかかわる内容は、基本「オンライン」にて実施をします。
- ・昼食は、1学期同様、班での対面形式はせず、全員が前を向いた状態での昼食とします。

② 学校行事について

- ・「体育祭」「文化祭」を中心とした2学期の行事は、現状予定通りに実施をします。体育祭の保護者観覧についても予定通りに感染症対策を徹底し行います。しかし、学校内での感染拡大が疑われる場合は、教育委員会とともに慎重に検討・判断し、中止・変更等の措置をとる場合もありますのでご理解をお願いいたします。

③ 部活動について

- ・夏休みと同様に通常の活動を感染症対策を徹底した中で継続していきます。しかし、部活動内での感染拡大が疑われる場合は、夏休み同様に、特定の部活動（感染拡大が疑われる部活動）のみ「活動を一定期間停止」する場合があります。その際は、「部活動メール」等で連絡の周知を行います。
- ・練習試合、各種大会・コンクール等の参加についても、現状のまま感染症対策を徹底した中で、参加を前提とします。夏休み同様に、特定の部活動（感染拡大が疑われる部活動）のみ「大会への参加を見送る」場合もあります。

④ コロナ感染等に係り「自宅待機」となった場合の学びの保障（家庭学習）について

この夏休みから、「一人一台タブレットの持ち帰り」をはじめました。1学期中にタブレットを全員が持ち帰りをできるように設定作業も終え、「ミライシード」という協働学習・一斉学習・個別学習それぞれの学習場面に対応できる学習ソフトを導入していただきました。それにより、コロナ感染等に係る「自宅待機」となった場合の「学びの継続」ができるようになりました。また、学校と家庭を結ぶ「オンライン」学習も可能になりました。しかし、現状、学校には教員用以外での予備のタブレットが少なく、各学年、各クラスで複数の自宅待機の生徒がある場合は、対応ができません。また、1年生が使用している多くのタブレットは双方向カメラの設定ができていないという現状もあります。そこで、対応可能なものを、「学びを止めない」ためにすすめていきます。

1 保護者（本人含む）からの申し出があれば、Google class ルームを用いてリアルタイムで授業をつなぎ、学習を家庭ですすめる。教室にタブレットを固定し、授業を固定カメラにて配信。ただし、学校には予備タブレットが少ないため、本人のタブレットを机上に固定する。自宅では各家庭にある PC・タブレット・スマホ等で対応をお願いします。

2 各家庭で、生徒自身のタブレットを活用して、「ミライシード」を自主学習としてすすめる。そして、学校からの授業教材プリントでも家庭学習をすすめる。

3 学校からの授業教材プリントにて家庭学習をすすめる

上記の3つのパターンでの家庭学習は、あくまで、生徒本人の体調を十分に考慮し、現状対応が可能なものを選択していただきます。この件については、「自宅待機」が明確になった場合、担任からご家庭に連絡・相談をさせていただきます。

